



41名が集い3年振りの対面総会



田中愛治総長 揮毫

会員増のためにお力添えを

かつて、千葉一区選出の川島正次郎自民党幹事長が、「政界は一寸先は闇だ。」と言っていました。が、政界に限らず、今や世の中全体が闇に思えてなりません。長引くコロナ禍、ウクライナへの軍事侵攻、元総理への銃撃事件、度重なる線状降水帯の出現など、うつ



会長 白戸章雄
(昭40政経)

令和4年
10月1日発行
◆
第23号
◆
編集発行
我孫子稲門会

かり居眠りもしていられます。今年度の総会は、ご承知のとおり、6月18日(土)に開催しました。コロナ禍が収束しない中で、総会を開くべきかどうか迷いましたが、総会こそが我孫子稲門会の最高の意思決定機関であり、何とか開催するすべはないものかと模索。結果として、「懇親会」なし、講演会などの「市民開放」なしという形で、密を避けることを優先させました。酒もない、「都の西北」も歌わない前代未聞の総会となりましたが、お陰さまで、三年連続の書面議決は回避でき、会則にも書面議決の根拠規定を設けることができました。溜飲がやっと下がった思いであります。

令和3年度を顧みますと新年会も中止、親睦を深める場である同好会も休会ないし活動自粛となつてしまいました。順番で、我孫子が実行委員長を務めた千葉県稲門祭は、県支部事務局や関係の方々のご尽力により、対面とリモートの併用で開催し、混乱なく終了しました。

目下の頭痛のタネは、我が稲門会の会員数が減り続けているということにあります。この流れを食い止め、特に退職後間もない校友の入会を促す方策はないものかと苦慮しております。ぜひお力添えくださるようお願いいたします。落ち着かない日々が続いておりますが、会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

令和3年度収支決算

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

収入	金額	支出	金額
年会費	429,000	会員募集費用	-
		総会開催費用	26,394
総会会費	-	新年会費用	-
		企画事業費	-
新年会会費	-	会報発行費	11,450
		部会補助	-
企画事業会費		支部活動費	10,000
		交際費	25,500
祝い金	-	通信費	47,848
		事務費	140
受取利息等	3	会議費	-
		交通費	-
		事務用消耗品費	4,983
		寄付金	50,000
合計	429,003	合計	176,315
前年度繰越金	359,691	特別勘定繰入	50,000
収入合計	788,694	次年度繰越金	562,379

令和4年度収支予算

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

収入	金額	支出	金額
年会費	450,000	会員募集費用	20,000
		総会開催費用	50,000
総会会費	-	新年会費用	270,000
		企画事業費	30,000
新年会会費	240,000	会報発行費	20,000
		部会補助	20,000
企画事業会費	30,000	支部活動費	40,000
		交際費	80,000
祝い金	-	通信費	50,000
		事務費	10,000
		会議費	10,000
支部補助金	-	交通費	10,000
		事務用消耗品費	20,000
受取利息	3	寄付金	50,000
合計	720,003	合計	680,000
前年度繰越金	562,379	30周年記念事業積立資金	50,000
収入合計	1,282,382	支出合計	730,000
		次年度繰越金	552,382

令和4年度総会報告

令和4年度我孫子稲門会総会は、6月18日（土）午前10時から、けやきプラザ9階の我孫子南近隣センターホールで開催された。一昨年、昨年と書面議決となったため、対面での総会は3年振り。まだまだ収まらないコロナの感

第一部 講演会

第一部は、我孫子市史研究

染拡大に考慮し、懇親会は取りやめ、また、来賓は招かず会員のみの座席の間隔を空けての実施となったが、予想を超える41名の参加を得た。

第二部 総会

第二部の総会では、白戸会長挨拶の後、引き続き会長が議長を務め議事を進行。提出された以下4件の議案について、センター事務局長の荒井茂男氏による講演会。我孫子の地名をテーマにお話をいただいた。（講演会の内容は、6面に掲載）

て、すべて異議なく承認された。
議案1 令和3年度事業報告・収支決算・監査報告

事業については、コロナ禍が長引く中、会報発行、幹事会等は予定どおり執行できたが、総会は書面議決、新年会は中止。同好会はほとんどが自粛を余儀なくされ十分な活動はできなかった。

議案2 令和4年度事業計画・収支予算

このため決算については、支出予算660,000円に対し、実績は176,315円にとどまった。（左表令和3年度収支決算）
4年度の事業は、コロナの状況が依然として不透明ではあるものの、可能ならば新年会を開催、同好会活動は感染

◆令和4年度役員



個人情報保護の見地から

マスキング

状況を極めて再開を検討することとした。

予算については、新年会費用や部会補助などを計上。支出予算は680,000円を計上した。(前頁令和4年度収支予算)

議案3 会則改正

2年連続で対面での総会を開催できず書面議決を実施したが、会則上にはその規定はなかった。このため、非常事

態発生など、会員が一堂に会することが困難な場合は、書面により決議できる旨、条文を追加した。

議案4 役員改選

体調不良等により退会された役員を除き、すべての役員を再任した。(左表)

以上の議事終了後、11時30分、実松靖之顧問の閉会の辞で総会を終了した。



2022 年千葉県稲門祭

11月27日(日)
東京ベイ幕張ホール

田中総長懇談会と熊谷知事講演 対面、リモートで開催

千葉県稲門祭が田中愛治総長、熊谷俊人知事を招き、昨年同様、対面とリモートで開催されます。今年は懇親会も実施します。ぜひご参加ください。

詳細については、同封の支部だより6、7ページをご覧ください。



熊谷俊人知事

- ◆内容 第一部 田中総長懇談会 14:30~15:30
第二部 熊谷知事講演会 15:40~16:20
第三部 懇親会 17:15~18:45

◆会費 対面：10,000円(会より2,000円の補助あり) / リモート：1,000円

◆申込方法 10月末までにメールまたは電話で下記までお申し込みください。
メールの場合は、対面・リモートの別を明記して下さい。

◆申込先 海老原美宣



田中愛治総長

個人情報保護の見地からマスキング

琴の音に寄せて

佐藤厚子（昭40 昶）



早稲田に入学したのは昭和36年。大勢の学生を巻き込んだ安保改定反対の激しいデモが治まり、昭和43年前後の全国的な大学紛争の始まる前の、平穏な4年間の学生生活を楽しめたのは幸運だった。

商学部は女子学生が極めて少なく、2000人の大教室でさえ女子学生は私一人だけ。最初は驚いたが程なく違和感を感じることが無くなった。というのは、私の卒業した高校が、以前は柔剣道で全国に名を馳せた男子校で一学年350名のうち女子生徒が35名だけという状態。3年間でこの雰囲気慣らされていたのだ。男子学生の中に埋没していたので商学部での思い出はあまり無い。僅かな記憶の中のひとつが、「商学部女子の会」という集りがあり、一度だけ

出席の折、後年大臣になった田中真紀子さんの後輩としての顔があったこと。

懐かしく思い出されるのは主にサークル活動での出来事の数々である。お琴と尺八の邦楽サークルに所属していたでもあまり練習熱心でなかった私には、寧ろ早稲田界隈の喫茶店での仲間との交流の方がはるかに楽しかった。当然演奏会はあって、大隈講堂小ホールでの、早稲田祭のステージや、サークル独自の演奏会などに出演したものだった。楽しかったのは春休みや夏休みに行なった三泊四日の地方へ足を運んでの合宿で、まさにサークルの一大イベントだった。（右は当時の写真）

春休みの九州一周旅行。早稲田祭の間の尾瀬と至仏山への登山。東京オリンピック開

催中には夜行列車を使つての京都への二泊三日の旅を楽しんだ。南禅寺門前の茶屋で食べた、当時は未だ安かった松茸たつぷりのうどんは絶品だった。半世紀以上も経っているのに、次々と色々な楽しさが懐かしく思い出される。

今でも交流の続く仲間が居る一方、此処我孫子の稲門会での先輩後輩の方々とのご縁は嬉しい。ただ現在はコロナ禍で活動が休止状態なので、再開を心待ちにしている。

拙句を一つ… 琴の音に
迎る若き日 夏の雲

市史にはまつて46年

岡本和男（昭38 埋工）



私は1963年、応用化学科を卒業し、化学公社に入社、新潟・倉敷・東京と巡った転勤の内に、住宅公団の土地分譲抽選に当たり、その2年後の74年3月、湖北台へ新築し、家族5人引越してきました。

ちょうどその頃、市の広報で教育委員会市史編さん室が「市史研究講座」の講座生を募集したので、いろんな話が聞けるぞと直ぐに参加するこ

とところが参加してビックリ。話を聞くのではなく、自分で調べて土地の歴史を知るゼミのようなものだったのです。

旧湖北村の歴史テーマを一年間調べ、報告として「講座」で発表し、皆が原稿をまとめ、「我孫子市史研究」第3号として出版されました。指導してくれたのは、独協大教授で57年早大政経卒の斎藤博先生、事務局は教え子の高木繁吉編さん室課員でした。以降、旧我孫子町、旧布佐町、北総

我孫子の地域と生活と中心テーマを変えて講座は進み、その都度課題を決めて調べ、報告をまとめました。これ以後「我孫子市史研究」は98年まで十六号を数えました。

私は、新居に7年居て、再びふりだしの新潟、次いで倉敷に転勤し、98年まで17年間我孫子を留守にしました。言い忘れましたが、最初の「市史研究講座」の頃、市史編さん室が事務局の「我孫子市史研究センター」という市民の団体に入会していました。その仲間が斎藤先生を中心に、夏合宿として各地を見学旅行するのには毎回「越乃寒梅」を切符代わりに持参して参加し、旧交を温めたものです。

2000年、我孫子市史本編の「近世篇」執筆の誘いがあり、筑波大副学長だった芳賀登先生を中心に市史研究センターの仲間の多くが参加してまとめることができました。身近な郷土史は素人でも精通できます。私も46年間しつかり市史に浸って楽しむことができました。

私の現況と展望

野川 拓至（昭39 尙）



私は現在80歳、昭和39年に商学部を卒業しました。生家の隣地には文京区立誠之（せいし）小学校があり、まさに孟母三遷の教えを地でいくような環境で育ちました。町には大学教授が多数居住し、学問を尊重する雰囲気がありました。

数年前、日本橋再開発のある街区のプロジェクトから勧誘がありました。それは日本橋の上を走る首都高速道路を撤去し、日本橋川の川底に道路を建設する計画があり、それに伴い川沿いの市街地を再開発しようとするプロジェクトです。参加といっても月1回の運営理事会に監事として出席する程度です。しかしながら、工事予算は2000億円台というもので、このような大規模な工事に遭遇し、関与できることは人生にとって幸運なことと思っています。ただ、第1期の工事完成時期が2030年と計画されている

我孫子市の現在地に転居したのは昭和63年。生家は以前麗澤大学の創設者故廣池千九郎氏が居住されていたそれなりの構えの家でしたが、古くなり雨漏りがひどく、やむをえずの転居でした。

こちらに来てから65歳半ばまで会社勤務をしましたが、退職後は現在まで子の神台自治会で、主として防災、防犯を担当しています。救急講習や防火講習の教育計画を作成し、毎年自治会員に消防署で受講していただいたりしてい

るので、完成時期まで長生きしたいと思っています。

野川家の墓は、文京区護国寺にあります。大隈重信侯の墓は護国寺本堂の横にあります。墓参時には本堂礼拝後、

大隈侯のお墓にお参りしています。大隈侯と同じお寺である校友は少ないでしょうから、大隈侯と同じお寺であることを光栄に思っています。

ツイッターの魔力

徳永和秋（昭45 法）



卒業後、新聞社の政治部記者の経験を活かして政治ジャーナリストの仕事が続けてきた。週二回ほど国会へ通い、政治家や秘書に会って情報を入手、「これは」と言うものを講演や月刊誌、ツイッターなどで発信してきた。

なく広がることになる。まるで一人で一つの新聞社や通信社を持つのも同然なのだ。写真や動画も同時に流すことも可能。放送局の機能をも持ち合わせていると言っても過言ではなからう。

中でも最も注力してきたのはツイッター。画面表示によると、小生の投稿数は累計一万五千本を上回り、フォローワーは約一千八百人。フォローワーがこちらの投稿をリツイート（RT）してくれると、投稿はまるで池の中に小石を投げ込むとできる輪の様に際限

麻生財務相（当時）の諮問機関が「老後を送るには二千万円の貯蓄が必要」との趣旨の答申をしようとし、麻生氏がこの受け取りを頑なに拒むったときのこと。国会でも大変な実力者として知られる女性秘書が「二千万なんてハシタガネよ！」とわめくのを目

の当たりにした。その金銭感覚にあきれて早速投稿したところ、投稿では名を伏せたので犯人探しで国会は騒然となった。

ツイッター社は収入を広告に依拠し、画面を一般に開放する民間会社。いわゆる「公器」とは性質を異にする。従って一定の政治勢力に配慮する側面があり、それらへの批判や非難を重ねるとクリックでいくら操作しても画面が動かなくなる。いわゆる「凍結」措置であり、しばらくの間、投稿不能となる。

ところで近年、国会議員の質の劣化がよく指摘される。衆議院を中選挙区から小選挙区に変更したことに起因するとの見解が最も有力だ。中選挙区だと自民党の場合、複数の派閥が候補者を立てるので切磋商磨し、個性豊かで政策に通じた魅力ある国会議員が誕生してきたと言える。今は率直に言ってどこを切っても同じ金太郎飴のような議員が多すぎて情けなくなる。

令和4年度総会講演会

『我孫子の地名あれこれ』管見

村上智雅子（昭43×研）

コロナ禍でなかなかお目にかかれなかった会員同士の再会の挨拶と喜びは、この日の高い天井のホール一面に響きわたっていました。三年ぶりの我孫子稲門会総会は、まずは恒例の講演会で幕開け。今年は市史研究センター事務局長の荒井茂男氏をお招きして『我孫子の地名あれこれ』と題してお話して頂きました。

荒井氏は我孫子生まれの我孫子育ちの元我孫子市役所勤務の方で、我孫子や白樺派に関する知識は人一倍お持ちの方です。氏は落ち着いた語り口で、映像も添えて朗々と次の内容を語られました。

地名とは何か

まず「地名とは何か」。地名とは、文字が伝わる（4世紀後半）以前から人の営みの中で、その土地の「自然」や「信仰」、田畑などの「耕作」や「交通・集落」に由来し命名され

たものです。

奈良時代の和銅6年（713年）『風土記』編纂の勅命で、国名郡名をなすべく良い字を用いて、しかも二字で表すよう制定。和銅8年には国郡郷里制が定められ、下総、上総、常陸、武蔵などの国名、千葉、印旛、葛飾などの郡名が表記されました。豊臣秀吉の天正10年「太閤検地」で「字（あざ）」が全国的につけられました。

また、明治政府による地方制度の確立で「大字（おおあざ）」が誕生し、明治22年の市制・町村制施行で、我孫子町、湖北村、布佐町が誕生。昭和30年に二町一村が合併し我孫子町が、昭和45年には我孫子市が誕生、今年で市制施行52年目となりました。

我孫子の地名の由来

次に「我孫子の地名の由来」。これは諸説ありますが、一つは古代の氏（うじ）や姓（か

ばね）に関係した説です。天

皇に魚や鳥などの食料を貢進する職業の氏族の名がアビコで、所有地にこの名がつけられました。二つ目は古代の官職大膳部に属し魚貝を貢進する仕事の作業「網曳（網引）」が転じたとする説です。三つ目は外国語由来説として、アイヌ語のap-toran（釣り針＝村）という漁業関係の地名が訛ったもの。あるいは韓国語でアビ＝息子、コ＝子で、我が息子の子、すなわち自分の孫という説などがあります。

現在、一つ目の古代の漁業に関係した氏族の名前というのが有力です。手賀沼と利根川に挟まれた我孫子に相応しい説です。

最後に「我孫子の地名あれこれ」について、いくつか列挙してみます。まず「久寺家」は、平将門の重臣・久寺豊後守が住んだ所という伝説と古代の税関係の役所「公事」があった所。「つくし野」は昭和50年住居表示で、我孫子・根戸・久寺家の一部が新しく名付けられました。また、「白

山」「本町」「寿」「栄」は昭和

42年の住居表示で、以前の大字我孫子が分けられて命名されました。「並木」は、昔「天子社」があり、そこに松並木があったため。「若松」は昭和35年「東洋のデイズニールンド」を目指して沼を埋め立て、その後住宅地に転用、昭和40年に町議会で縁起の良い名前が付けられました。「中峠」は村境・標（ひょう）峠という説と土手に囲まれた小城の中央という説があります。「布佐」は、植物の「麻」がよく育つ所でこの名がつけられました。

地名は、その土地の地形や歴史に関わり命名され今日に至っています。こうして見ていくと、改めて自分の住まう土地に興味と愛着が湧きます。

以上、一時間という短い時間の中で、荒井氏は6ページに及ぶ立派な資料に基づいて、我孫子の地名について広い視点に立って興味深く有意義な講演をなさり、考え学ぶことの多いひとときとなりました。



▲ 荒井茂男氏（左）とスライドを使っ
ての講演風景（上）



稲門祭は一昨年は中止、昨年はオンライン開催となりました。本年は5月頃から沈静してきたことから、6月に基本的にリアル開催することに決まりました。

積もり積もった思いを楽しみに変え、コロナ前の祭りに戻るのではなく、新しい祭りを始めたいと実行委員は張り切っています。ぜひとも皆様のご参集をお願いします。開催日は10月23日(日)です。

また、あわせて行われるホームカミングデーの対象卒業年中、昭和46年、47年卒の方々は今回は最後のチャンスとなります。奮ってご参加ください。

稲門祭、ホームカミングデーの詳細は、2022稲門祭オフィシャルサイト・校友会WEBサイト等で随時お知らせします。ご確認ください。

なお、稲門祭記念会購入については、会員の皆様の特段のご協力を得て、我孫子稲門会全体で、昨年度を18,000円上回る82,000円となりました。深く感謝いたします。

2022
10.23

早稲田の杜に集まれ
2022 稲門祭

地区別校友数・会員数・地区委員一覧

令和4年7月1日現在						
地区	校友	会員	地区委員	地区	校友	会員
布佐・布佐西町・都	22	4	個人情報保護の 見地からマスキング	白山2丁目	17	0
布佐平和台1丁目	6	0		白山3丁目	25	3
布佐平和台2～7丁目	26	7		船戸	28	4
南新木	8	1		台田	26	3
新木・新木野	29	1		久寺家	29	8
下ヶ戸	11	0		つくし野1丁目	20	2
古戸・中里	12	0		つくし野2丁目	21	2
日秀	7	2		つくし野3丁目	51	8
中峠	2	3		つくし野4丁目	7	0
中峠台	6	2		つくし野5丁目	18	7
都部・岡発戸	7	1		つくし野6丁目	25	3
湖北台1～5丁目	34	3		つくし野7丁目	18	5
湖北台6～10丁目	31	4		並木	39	8
栄	19	4		我孫子1～4丁目	103	10
泉	27	4		我孫子(上記以外)	3	0
天王台	61	8		根戸	31	0
東我孫子	26	8		青山	4	0
高野山	30	5		青山台	58	10
若松	35	6		南青山	2	0
寿	37	8		柴崎台	28	5
本町	5	0		柴崎	3	1
緑	19	3		市外(東京、松戸、柏)		7
白山1丁目	30	7		合計	1,067	167

「校友」は令和4年4月18日現在の早稲田大学校友会登録者

「会員」は令和4年7月1日現在の我孫子稲門会登録者

我孫子稲門会会員名簿

令和4年7月1日現在 167名

個人情報保護の見地から

マスキング

我孫子稲門会事務局

個人情報保護の見地から

マスキング

編集後記

来賓も懇親会も『都の西北』
もない3年振りの対面総会。
これまでどおりの形で開催す
ることはできませんでしたが、
活動再開への確かな一歩とな
りました。

感染者数は減少傾向にあり、
コロナの終わりが見えてきた
との見解も示されています。
状況を見ながら徐々に活動
の幅を広げていきたいと思い
ます。皆様のご協力をお願い
いたします。